

平成28年1月20日(水)  
大宮駅東口まちづくり事務所

**【第1回】**  
**大宮駅東口周辺公共施設再編**  
**推進本部／幹事会 合同会議**

議事-1 大宮駅周辺公共施設再編のこれまでの経緯

議事-2 まちづくりの方向性と課題

議事-3 今後の検討体制

# 1. 大宮駅周辺公共施設再編のこれまでの経緯

---


## 1-1. 大宮駅周辺公共施設再編のこれまでの経緯

H22	H23	H24	H25	H26	H27
<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略ビジョン策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設再編の具体的な検討を開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大宮駅周辺公共施設再編推進本部会議を設置し検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県議会、市議会で土地交換の承認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設再編を新たな体制のもと検討していくことを承認</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> 担当者WG開催 (11月、12月)	

### 戦略会議での 決定事項

- H22.6 ・市民会館おおみやのホール機能を大門町2丁目中地区へ移転
- H24.8 ・大宮区役所の県合同庁舎への移転
- H24.12 ・大宮図書館と区役所の複合化
- H27.9 ・ホール機能の機能・規模等  
・公共施設再編の新たな検討体制の構築

## 1-2. 大宮駅東口周辺の主な公共施設について

 : 大宮駅周辺公共施設再編推進本部 (H24設置) での検討対象施設

高鼻コミュニケーション(S48築)



第1駐車場

大宮北公民館(S58築)

大門町2丁目中地区  
※第一種市街地再開発事業  
(組合施行) 都市計画決定

大宮中部公民館(S53築)

市民会館おおみや(S45築)



埼玉県大宮合同庁舎

土器の館(H10築)

氷川の杜文化館(H8築)

市立博物館(S55築)

大宮図書館(S47築)



大宮小学校(S30~52築)

大宮区役所(S41・32築)



大宮区役所別館  
(S58・H3・H14築) <sup>5</sup>



# 1-3. 大宮駅周辺のまちづくり（大宮駅周辺地域戦略ビジョン）

## 「大宮駅周辺地域戦略ビジョン」とは

～おもてなしあふれる東日本の顔を目指して～

大宮駅周辺地域を  
政令指定都市さいたま市の  
「顔」にふさわしい地域  
にしていくことを目的に  
平成22年5月に策定



## 将来像

### 東日本の顔となるまち

東京中心部、北関東・東北地方や上信越地方と連携し、多様な都市活動が展開される東日本の交流拠点都市として、また、さいたま市の「顔」として、市民が誇りに思えるまちをつくります。



### おもてなし、あふれるまち

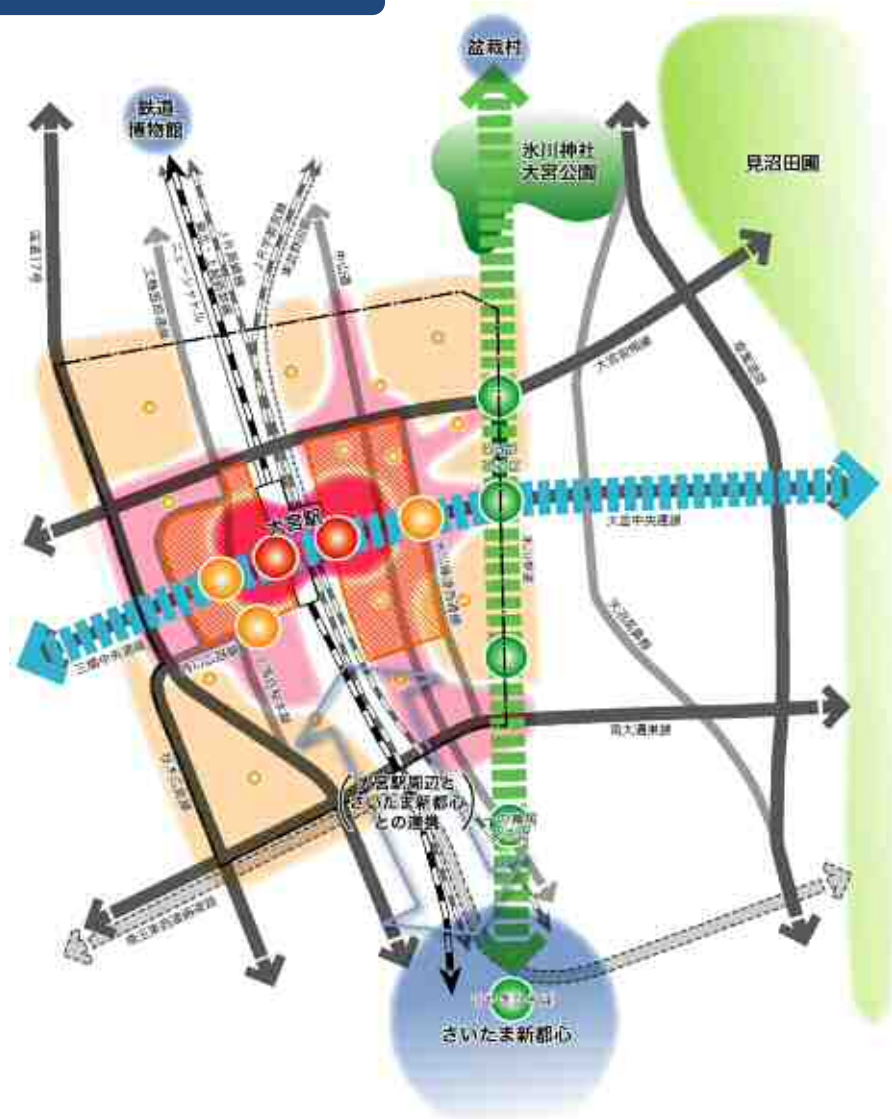
大宮らしさを感じさせる様々な場所の個性を活かした「おもてなし」にあふれる地域として、初めて訪れた人も、通勤や通学で毎日通っている人も、住んでいる人も、楽しめるまちをつくります。

### 氷川の杜、<sup>つな</sup>継ぐまち

豊かな都市生活を守り、育て、継承していく地域として、氷川の杜に象徴される地域資源の活用、環境負荷の低減や高齢化社会への対応、次世代の育成などに取り組むまちをつくります。



## まちづくりの方針図



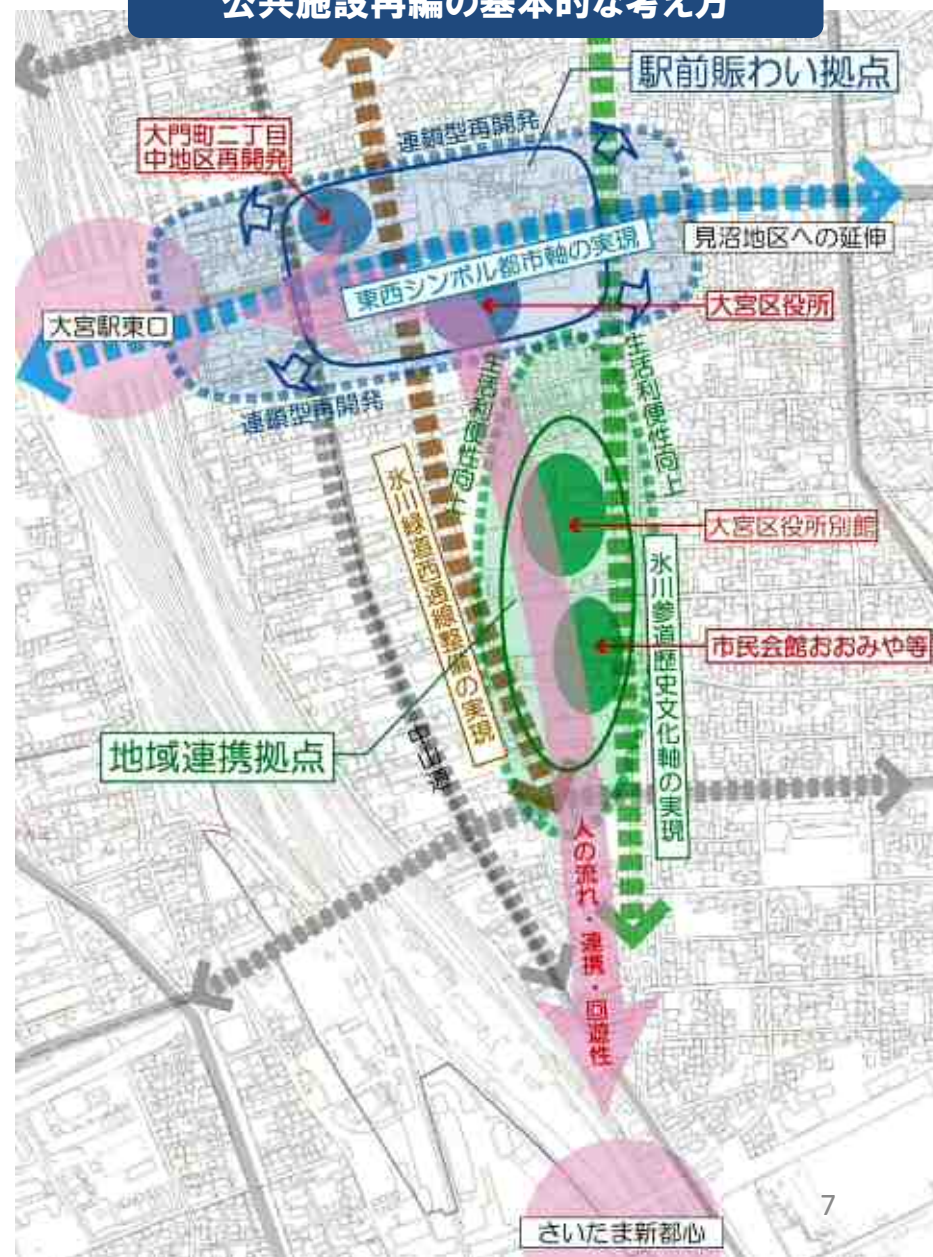
# 1-4. 大宮駅周辺のまちづくり（公共再編による「連鎖型まちづくり」）

## 公共施設再編による「連鎖型まちづくり」

大宮駅東口周辺の耐震性や老朽化などに課題を抱える公共施設の集約・複合化とそれにより生み出された用地をまちづくりに活用して、駅周辺の再開発や基盤整備を連鎖的に推進します。



## 公共施設再編の基本的な考え方



## 2. まちづくりの方向性と課題

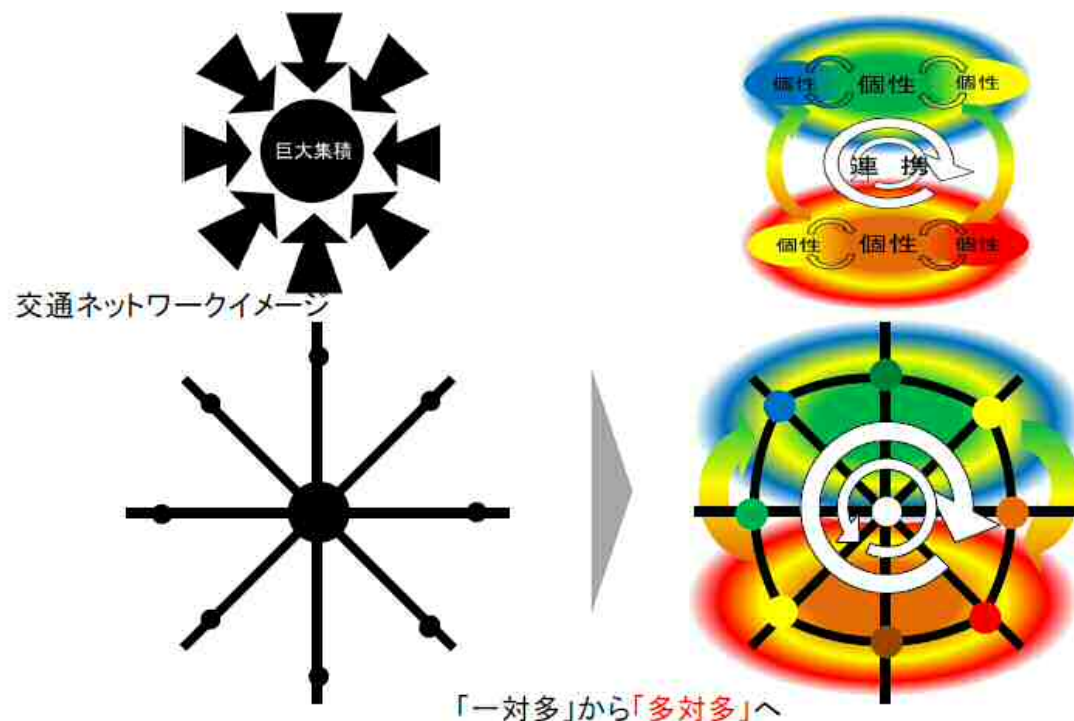
---



## 2-1. 国土形成計画と首都圏広域地方計画

### 国土形成計画の概要

- 「国土形成計画」は、国土に関わる幅広い分野の政策について、長期を見通して統一性をもった方向付けを行い、目指すべき国づくりを推進することを目的とした国土計画。平成17年に「国土総合開発法」を全面改正して整備(旧 全国総合開発計画に該当)
- 全国計画(閣議決定)と広域地方計画(国土交通大臣決定)の2層構造
- 平成27年9月に全国計画を改定(戦後7番目の国土計画/計画期間2015~2025)
- 28年3月末を目途に、広域地方計画を策定中



### ■「集中」と「対流」概念図

- ・首都圏、特に東京圏が日本経済を牽引する中で、金融等を始めとする諸機能が集中。一方で首都圏直下地震のリスクは高まり、一極集中は日本国全体のリスク
- ・昭和30年代以降、一貫して機能分散施策がとられてきたが、近年再び集中傾向
- ・しかし、東京圏抑制では諸機能が他国に流出する恐れ
- ・首都圏の国際競争力を維持発展させながらリスク軽減を図る一つの答えが面的な対流の形成

出典:国土交通省資料



## 2-3. 『駅前賑わい拠点』と『地域連携拠点』

### ■ 「駅前賑わい拠点」の整備の方向性

- 民間機能との賑わいの相乗効果を創出
- 駅周辺地域の再開発を誘発
- まとまった土地や床を生み出し、まちづくりに活用
- 駅周辺の交通環境の向上に寄与

### ■ 「地域連携拠点」の整備の方向性

- 大宮駅とさいたま新都心との間に連携・回遊性の向上
- 山丸公園活用による防災性の向上
- まとまった土地や床を生み出しまちづくりに活用
- 氷川参道の歩行者専用化に寄与



## 2-4. 『駅前賑わい拠点』の役割と求められる機能（案）

### ■ 「駅前賑わい拠点」の整備の方向性

- 民間機能との賑わいの相乗効果を創出
- 駅周辺地域の再開発を誘発
- まとまった土地や床を生み出し、まちづくりに活用
- 駅周辺の交通環境の向上に寄与

### ■ 「駅前賑わい拠点」の整備の具体化

- 駅利用者をまちなかに惹きつける東日本の玄関口にふさわしい交流拠点へ
- 機能の複合化による、人・モノの集結
- 駅から参道まで見渡せるシンボル性の高い空間
- 沿道の高度利用と足元の賑わい、歩きやすい空間を誘導
- 沿道と一体的に地域全体の回遊性をリードするおもてなし空間

### ■ 「駅前賑わい拠点」の役割と求められる機能

- 商業機能・集客機能の充実
- 広域的な連携・交流機能
- 情報発信機能
- 回遊性を高める広場や歩行空間
- 駅前再開発・駅前広場整備の種地 等

## 2-5. 『駅前賑わい拠点』と『地域連携拠点』

### ■ 「駅前賑わい拠点」の整備の方向性

- 民間機能との賑わいの相乗効果を創出
- 駅周辺地域の再開発を誘発
- まとまった土地や床を生み出し、まちづくりに活用
- 駅周辺の交通環境の向上に寄与

### ■ 「地域連携拠点」の整備の方向性

- 大宮駅とさいたま新都心との間に連携・回遊性の向上
- 山丸公園活用による防災性の向上
- まとまった土地や床を生み出しまちづくりに活用
- 氷川参道の歩行者専用化に寄与



## 2-6. 『地域連携拠点』の役割と求められる機能（案）

### ■ 「地域連携拠点」の整備の方向性

- 大宮駅とさいたま新都心との中間に連携・回遊性の向上
- 山丸公園活用による防災性の向上
- まとまった土地や床を生み出しまちづくりに活用
- 氷川参道の歩行者専用化に寄与

### ■ 「地域連携拠点」の整備の具体化

- 地域住民に必要とされ、人々が集える文化の拠点
- さいたま新都心との連携強化による人・モノの流動の活発化
- 氷川参道歩行者専用化にあわせて歩行空間を整備
- 沿道を歩いて楽しめる施設を誘導
- 公園や参道などを生かした緑環境を形成

### ■ 「地域連携拠点」に求められる役割と機能

- 地域コミュニティ機能
- 文化交流機能
- さいたま新都心との連携機能
- 防災機能を兼ね備えた憩いやゆとり空間
- 都心居住機能

## 2-7. 大宮駅東口公共施設再編の評価の視点

### <まちづくりのあり方>

財政制約、全国的な人口減少下での広域的拠点形成、コンパクトシティ化に向けた機能集約/高次化

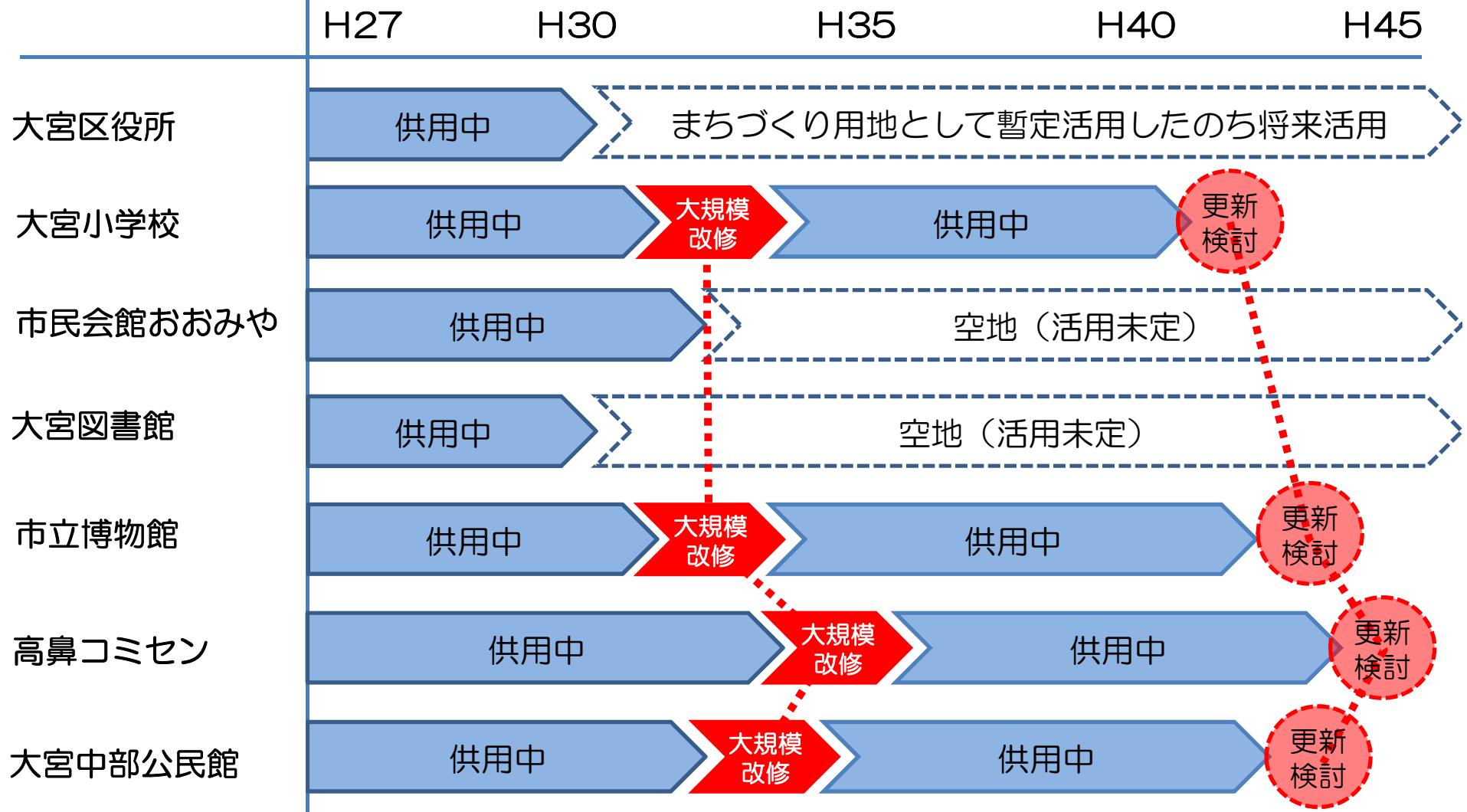
- 地域内の施設は原則複合化し、総量を削減（拠点形成への効果、老朽・稼働状況等を考慮）
- 跡地はまちづくりに活用（交通機能の強化、機能更新等により東口の課題の改善）
- 賑わい拠点には、広域拠点としての更なる魅力向上に向け、高次機能、特に官民連携による交流機能を導入
- 地域連携拠点には、市内・地区内の拠点としての生活文化交流機能を導入
- これらをつなぐネットワーク機能の導入（新都心含む）

### <評価の視点>

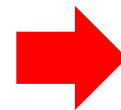
下記視点により、今後検討する選択肢を議論・評価

- ✓ 行政コスト抑制（面積削減）、資産有効活用
- ✓ 市街地更新の実現
- ✓ 交通拠点機能の改善
- ✓ 来訪者の増加（乗降客、歩行者）
- ✓ 市民・地域の生活利便性・利用率改善（ワンストップサービス）
- ✓ 移動環境の向上

## 2-8. まちづくりと公共施設マネジメントとの関係から見た課題



複合化の検討がなされていないため  
大規模改修や更新の検討時期がバラバラ



公共施設マネジメントにとらわれない  
まちづくりと連携した検討が必要



### 3. 今後の検討体制

---

## 3-1. 今後の検討体制

### 【大宮駅東口周辺公共施設再編推進本部設置要綱】

#### 目的 (第1条)

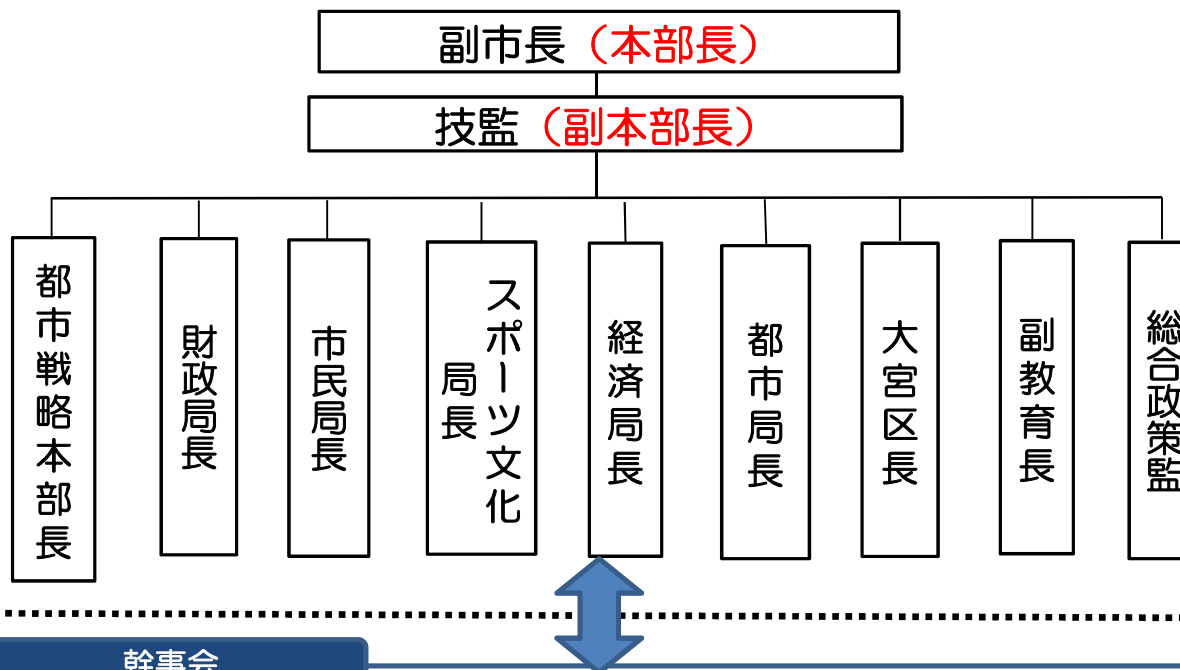
大宮駅周辺は、東日本の玄関口として首都圏と東北、上信越、北陸及び北海道の各圏域が連携・交流する拠点としての役割が期待されていることから、大宮駅周辺地域戦略ビジョンに基づき、公共施設等の再編による連鎖型まちづくりを推進し、まちづくりの活性化を図るため、大宮駅東口周辺公共施設再編推進本部（以下「本部」という。）を設置し、大宮駅東口周辺の公共施設再編の方針を定めることを目的とする。

#### 所掌事務 (第2条)

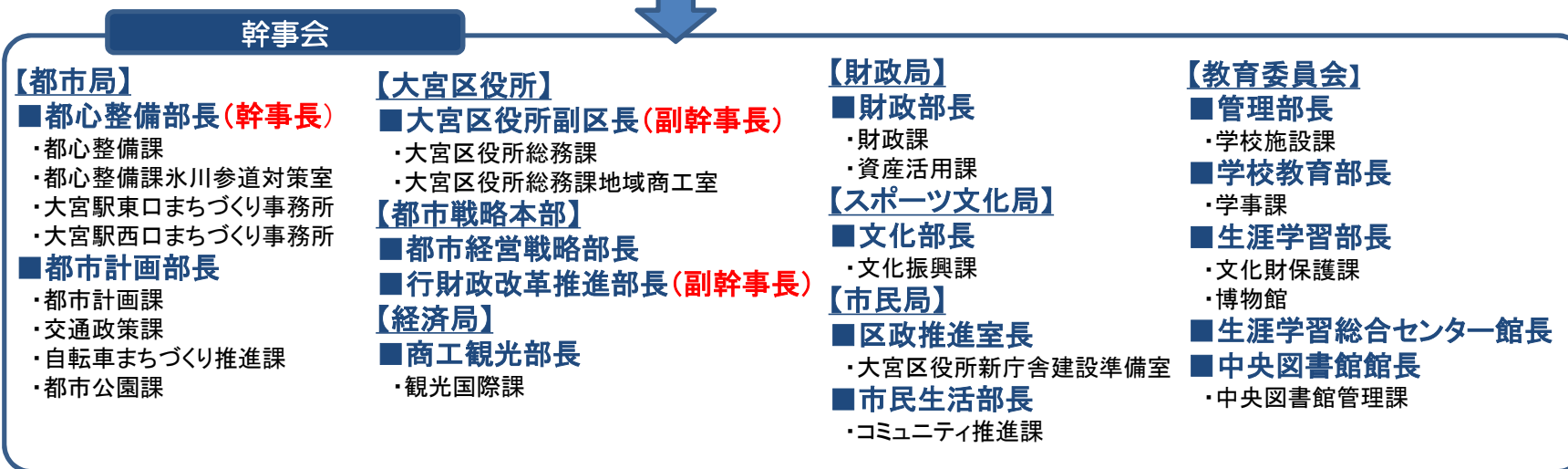
- (1) 大宮駅東口周辺地区の公共施設の現状・課題に関すること。
- (2) 大宮駅東口周辺地区の公共施設用地を中心とした拠点形成に関すること。
- (3) 大宮駅東口周辺地区の公共施設用地等の利活用に関すること。
- (4) その他、大宮駅周辺の公共施設再編の推進に必要な事項。

## 3-2. 新たな検討体制

本部



実務組織



### プロジェクトチーム

必要に応じ、関係課担当課長レベルの会議を随時開催する

※事務局は大宮駅東口まちづくり事務所が行う

### 3-3. 今後の検討スケジュール（案）

#### ■ 今年度の到達点と来年度以降の検討のステップ

